

【 会 議 録 】 (概要)

日時:平成28年7月12日(火) 19:00~21:20

会議名	平成28年度越谷市自治基本条例推進会議 第2回会議	場所	越谷市役所本庁舎5階 第1委員会室
件名 議題	1 開会 2 協議事項 (1)自治基本条例の運用状況を確認するための指標及び報告事項について 3 報告事項 (1)子ども版パンフレットの活用状況について 4 その他 5 閉会		
資料等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
出席者	出席委員 横家会長、駒崎副会長、狩野委員、鋪野委員、立澤委員、得上委員、土方委員、淵野委員、松原委員、浅見委員、戸巻委員、寺島委員、黒須委員、多賀谷委員(14名) 欠席委員 小林委員 事務局 橋本市長公室副参事(兼)政策課長、山崎政策課副課長、根本同主事、丸岡同主事(4名) 傍聴者 1名		
内 容	別紙 会議録(要旨)のとおり		
●合意・決定事項等			
・自治基本条例の運用状況を確認するための指標及び報告事項について協議した。次回の会議では、自治基本条例の運用状況を確認するための指標及び報告事項について引き続き協議することとした。			
・平成28年度第3回会議を平成28年8月31日(水)の午後7時00分から開催することとした。			
・自治基本条例の運用状況を確認するための指標及び報告事項について、7月31日(日)までにメーリングリスト等を活用して事務局に意見を提出することとした。			

会議録（要旨）

1 開会あいさつ（会長）

こんばんは。本日はお暑い中、またお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。

実質的には本日が1回目の会議というかたちになってこようかと思えます。会議を進めていくにあたりまして、せっかくお集まりいただいておりますので、皆さんひとり一度は発言をしていただければと考えております。ここで出た意見や感想等が自治基本条例の推進に少しでも役立てられれば、会議が有意義なものとなると思えます。よろしく願いいたします。

事務局あいさつ（橋本市長公室副参事）

こんばんは。お忙しい中ご出席いただき、ありがとうございます。

4月の会議におきましては、事務局より第1期から第3期までの推進会議における取り組み状況等を報告させていただきました。

第2期の推進会議の中で、自治基本条例が適切に運用されているかということを目指をもって確認していくと良いのではないかとのご提案を受け、第3期の推進会議において、指標等の項目などについてご意見を伺ってまいりました。このような経緯から、今年度の推進会議で調査審議する内容として、自治基本条例の運用状況を確認するための指標及び報告事項を提案させていただき、過日の会議でもたくさんのご意見をいただきました。

本日の会議では、事務局案として指標の項目をお示しさせていただき、その内容を中心に審議をいただければと思えます。どうぞよろしく願いいたします。

2 協議事項

（1）自治基本条例の運用状況を確認するための指標及び報告事項について

（会 長） それでは、協議に先立ちまして【資料1】及び【資料2】について、事務局から説明をお願いいたします。

・事務局が、【資料1】（自治基本条例の普及に関する取り組み一覧）、【資料2】（平成27年度市政世論調査結果報告書 抜粋）について説明した。

（会 長） ありがとうございます。今の事務局からの説明に対して、ご質問、ご意見、ご感想等ありましたらお願いします。

（A委員） 世論調査での自治基本条例の認知度について、市としてはどのように受け止めていますか。

（事務局） 平成26年度から平成27年度にかけて、自治基本条例を「知っている」と答えた方がわずかに増えてはいますが、引き続き普及の取り組みを進めていくべきと考えています。推進会議でも良いご意見をいただき、今後の取り組みに生かしていきたいと存じます。

（B委員） 【資料2】「平成27年度市政世論調査結果報告書 抜粋」の「（3）協働が必要（効果的）な分野」で、「暮らしの安全・安心に関すること（防災、防犯、消防、消費生活など）」が78.4パーセントと最も多くなっています。しかし、実際に市の防災訓練や単一自治会の防災訓練、消防訓練等で声掛けをしても、3割から半数程度の世帯の参加しかありません。必要性を感じていても、実際そのような状況になって初めて気がつくということだと思えます。防災等の取り組みについて、まだまだ参加率が低いという現状を報告させていただきました。

（C委員） 「自主防災組織率」については指標に項目がありますが、防災の取り組みへの参加者数につ

いては項目にありません。自らまちづくりに参加するという意識の人たちがどのように増えてきたかということも指標に必要ではないかと思いました。

また、自治基本条例の認知度について、やはり30代が低いという結果になっています。この世代は、報告事項で事務局から説明のある「子ども版パンフレット」を活用している世代の親の世代にあたると思います。30代の人々にどのように自治基本条例が広まっていくかという部分を見極められる指標が設定できると良いと思います。

(D委員) 自治基本条例の認知度について、やはり10代から30代が低い数値となっています。自治基本条例をどのようにして知ったのかという項目があれば、今後認知度を上げていく取り組みに役立てられると思います。

(E委員) 【資料1】「自治基本条例の普及に関する取り組み一覧」に、子ども版パンフレットを活用した取り組みについて記載があります。10代から認識を深めていくことは、とても大事なことだと思います。小学校6年生に配付して、学校の先生方等からどのような反応があったのかお聞かせいただければと思います。

(会 長) 「子ども版パンフレットの活用状況について」は本日の報告事項になろうかと思いますが、差し支えなければこの場で事務局から報告をお願いします。

・事務局が、子ども版パンフレットの活用状況について、【資料4】(平成27年度 子ども版パンフレットの活用状況について)に基づいて説明した。

(会 長) ありがとうございました。事務局からの報告を受けて、何かございましたらお願いします。

(F委員) 小学生、中学生にアプローチをしていくというのは、とても有効だと思います。小学6年生へのこの取り組みを、毎年続けていっていただきたいと思います。

(会 長) 報告事項についてのご感想等は、また協議事項の後にいただければと思います。その他、【資料1】、【資料2】の説明を受けてのご意見等がありますか。

(G委員) 世論調査の項目立てが良くできていると思います。協働が必要な分野など、必要と感じている人たちが中心となって広めていくことがまず第一だと思います。また、「(4) 協働の推進に必要(効果的)な施策」についても、この結果を市として受け止めて、施策に生かしていただければと思います。

(H委員) 今後世論調査等で項目を設定する際、協働等においてどのような部分が課題であるか、どういった取り組みが足りないかといった部分にも焦点を当てる必要があると思います。

(会 長) ありがとうございました。その他、ご意見はありますか。

それでは続きまして、自治基本条例の運用状況を確認するための指標及び報告事項について、事務局から説明をお願いします。

・事務局が、自治基本条例の運用状況を確認するための指標及び報告事項について、【資料3】(越谷市自治基本条例の運用状況を確認するための指標及び報告事項)に基づいて説明した。

(会 長) ありがとうございました。

内容が広範多岐にわたっておりますので、参加、協働、情報共有、市政運営の4つにテーマを分けてご意見をいただきたいと思います。それぞれの課題や、より数値を上げるためのアイデア、また指標の項目に関するご意見等をいただきたいと思います。

まず、参加の部分でご意見等あればお願いします。

(I委員) 「審議会等における女性委員の割合」について、審議会等の公募委員に応募する際、800字の作文を書く必要がある場合が多いです。応募動機を尊重した、もう少し手軽な応募要件になれば、女性の応募が増えるのではないかと思います。

- (J委員)「市長とふれあいミーティング」の1回あたりの定員を増やすことができると良いと思います。
- (K委員)「ボランティア登録者数」の数値は、社会福祉協議会に登録されているボランティアだけとなっています。社会福祉協議会に登録されている方以外にもボランティアとして活動している方がいると思います。
- (事務局)ボランティアの定義をどう捉えるかという部分が難しい中で、今回は社会福祉協議会にボランティアとして登録されている人数を指標としてお示しました。他にどのような設定ができるかも含めて、この場でご意見をいただければと思います。
- (L委員)自治基本条例が市民に浸透しているかが最も表れるのが「参加」の項目だと思います。この指標で参加として示せば、自分たちのやっていることが参加にあたっているということを認識してもらうきっかけになると思います。PTAや子ども会も、まちづくりに参加していることになるので、「参加」の項目のボリュームをもっと増やすことができると良いと思います。
- (会長)ありがとうございました。
続きまして、協働の部分でご意見等があればお願いします。
- (M委員)「自治会加入世帯数」に関連して、昨年まで自治会長を務めてきた中で、加入者数を増やすために、学校とのつながりを持ちたいと考えていました。小学校の校長先生に、どこの自治会に入っているのかを子ども達に聞いてもらうようお願いしたところ、その質問をきっかけに加入したという話を聞いています。自治会加入世帯数を増やすためのアプローチは、色々工夫ができると思います。また、参加や協働をしたいと思ったときに、どこに行って何をすれば良いのか、という情報が、なかなか手に入りづらいと感じます。広報こしがやを活用するなど考えられますが、全世帯の人たちが情報をすぐ目にできるような工夫をすることが課題であると思います。
- (N委員)「自治会加入世帯数」の加入率は下がっていますが、世帯数自体も減っているのでしょうか。
- (O委員)世帯数は増えています。ただし、アパート等の入居者は、アパートの管理者等を通じて自治会費は支払うけれども自治会活動への参加はしない、といった実態もあります。また、共働きのご家庭なども、なかなか自治会活動に参加していただくのが難しい状況です。
- (P委員)子ども版パンフレットの活用状況について報告があった中で、子ども達の感想として、花植えなどもまちづくりだと気づいたというようなものもありました。日ごろどのようなまちづくりに参加しているか、地区ごとにアンケートを取ってみると、参加や協働に関わっていることの意識付けになると思います。
- (Q委員)世論調査で自治基本条例を知っていると答えた人が1割程度という現状ですが、実際にまちづくりに関わっている人はたくさんいると思います。実際のまちづくりの活動の際に、その活動が自治基本条例の精神に基づくものだと伝えていくことができれば、自治基本条例の認知度も上がっていくと思います。
- (R委員)蒲生地区では毎年「蒲生フェスティバル」を開催しています。コミュニティ推進協議会が主体となり、連自治会が後援として開催しており、PTA等様々な方と協働していますが、それぞれの方が自治基本条例の精神に基づくものだと認識はしていないと感じます。こういった取り組みの参加者へ意識付けをすることも、自治基本条例の認知度を上げるための一歩になると思います。
- (S委員)市民活動支援センター登録団体数や事業実施状況と同じように、男女共同参画支援センターの登録団体数、事業実施状況も指標と報告事項に盛り込めると良いと思います。
- (事務局)委員の皆様の総意を得られるようであれば、次回以降の会議で指標及び報告事項としてお示しさせていただきます。
- (T委員)盛り込んでいただきたいと思います。

- (会 長) 異議等ないようですので、次回以降の指標等に盛り込んでいただくようお願いします。
- (U委員) 協働の分野についてですが、消防団は協働に含まれないのでしょうか。
- (事務局) 消防組織法に基づいて設置されている機関にあたるので、協働の分野では指標として設定しておりません。
- (V委員) 消防団も各種イベント等、地区のまちづくりに協力していただいているので、指標に含めることを検討していただきたいです。
- (事務局) どの分野に分類するかも含めて、検討させていただきます。
- (W委員) 「ふれあいサロン開催回数」は、社会福祉協議会で開催されたもののみの回数でしょうか。民生委員が主体となって開催しているもの等も含めて数値を出していただければと思います。
- (事務局) 市で把握しやすい数値ということで、社会福祉協議会が主となって開催したものの数値とさせていただきます。所管課に確認の上、検討させていただきます。
- (X委員) 「NPOへの委託事業、共催事業等の実施状況」について、指定管理者制度に基づく事業を含んだ指標であると良いと思います。
- (Y委員) 指定管理者制度については、捉え方が難しい部分かと思いますが、事業単位であれば協働と捉えることができるものがあると思います。
- (会 長) ありがとうございました。
続きまして、情報共有と市政運営の部分について、ご意見等があればお願いします。
- (Z委員) 「c i t yメールの配信件数」が指標としてありますが、登録者数を、可能であれば年齢別に指標として設定できると良いと思います。
- (a委員) 今年の4月に開局した「こしがやエフエム」について、災害時の活用など、市として情報共有のツールとしてどのようにお考えでしょうか。
- (事務局) どういった活用する方法があるか、危機管理課等の関係課を含めて調整していきたいと考えております。
- (b委員) 「情報公開制度の運用状況」、「個人情報保護制度の運用状況」の項目で、実際に非公開、不開示となった件数が分かると良いと思います。
- (事務局) ホームページ等には公開されている情報になりますので、後ほど情報共有させていただきます。
- (c委員) 市民に対してわかりやすく情報を提供することが必要です。「広報紙のわかりやすさ」が指標の項目として設定されていますが、市の情報がわかりやすく出されているかをアンケート以外の方法で測ることができると面白いのではないのでしょうか。委員の皆さんから何かご提案いただければと思います。
- (d委員) 「わかりにくい」と答えた人に、どの部分がわかりにくかったかを聞くと、今後の広報紙づくりに生かすことができると思います。
- (e委員) 「いきいき越谷」の視聴率の算出方法を教えていただきたいです。また、「ホームページアクセス件数」はユニークユーザーでしょうか。
- (事務局) ホームページのアクセス件数は、延べ件数です。「いきいき越谷」視聴率の算出方法については、次回会議でお示しいたします。
- (f委員) c i t yメールとツイッター、L I N E@の取り組みの違いは何でしょうか。
- (事務局) 利用者層が違うため、様々なツールを活用して情報発信をしています。
- (g委員) 自治基本条例の普及に向けて、協働フェスタで引き続き良い企画ができれば良いと思います。
- (会 長) ありがとうございました。今回出た意見を踏まえ、次回会議で自治基本条例の運用状況を確認するための指標及び報告事項について引き続き協議することとしてよろしいでしょうか。

・出席委員全員に確認し、了承された。

●合意・決定事項等

- ・次回の会議では、自治基本条例の運用状況を確認するための指標及び報告事項について引き続き協議することとした。

3 報告事項

(1) 子ども版パンフレットの活用状況について

- (会 長) 協議事項の中で「子ども版パンフレットの活用状況について」、事務局から説明がありました。ご意見やご感想等ありましたらお願いします。
- (h 委員) 子ども版パンフレットについて、市からは小学校へどのように活用するかも含めて依頼しているのでしょうか。
- (事務局) 年間の指導計画に位置づけていただき、活用方法等については担任の先生にお任せしています。
- (i 委員) 第1期、第2期と推進会議委員として携わっていました。子ども版のパンフレットが平成23年度に初めて活用されて報告を受けた時よりも、今回の報告はとても内容が深くなっており、取り組みが進んでいると感じました。
- (会 長) ありがとうございます。

4 その他

- ・事務局が、次回の日程等について説明した。

※平成28年度第3回会議を平成28年8月31日(水)の午後7時00分から開催することとした。

※自治基本条例の運用状況を確認するための指標及び報告事項について、7月31日(日)までにメーリングリスト等を活用して事務局に意見を提出することとした。

5 閉会(副会長)

本日は長時間にわたり、熱心にご協議いただきありがとうございます。色々な立場の方から色々な意見をいただき、これからの自治基本条例の推進に生かしていくことができると感じました。次回会議までに本日足りなかった部分など、メーリングリストを通じてご意見をお出しいただき、会議をより良いものとしていければと思います。ありがとうございました。